

「みんながつながり笑顔があふれる公共交通」を目指して ～ 第2次長久手市地域公共交通総合連携計画の策定 ～

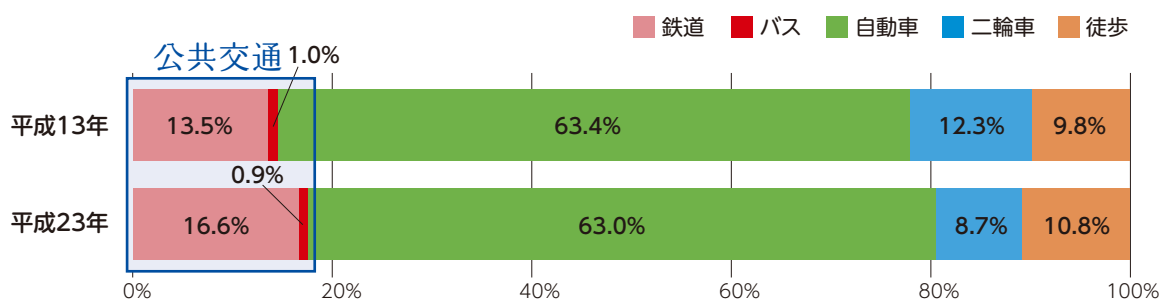
☎ 経営管理課 ☎ 56-0600

本市では、リニモをはじめ、路線バス(名鉄バス)やN-バスが公共交通として人々の移動や交流を支えています。市民のみなさんや交通事業者、行政が一体となって公共交通を確保・維持し、利便性を向上していくため、今後5年間(平成30年まで)の公共交通に関する方向性や将来像、具体的な取組を定めました。

※より詳しい内容については市HPをご覧ください。

本市の公共交通の現状

本市では、かつては路線バス(名鉄バス)が公共交通を担ってきましたが、平成10年にN-バスの運行を開始し、平成17年には鉄軌道系交通のリニモが開業して、市内の公共交通の骨格が形成されるなど、近年の人口増加とともに、公共交通網も大きく変化しました。公共交通ネットワークが形成されつつある本市では、公共交通の利用割合が増加しています。



移動に当たって利用する主な交通手段【第4・5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成13・23年実施)】

課題の整理と今後の展開の方向性

計画策定のためにアンケートを実施し、以下のような課題が見えたので、それを踏まえて今後の展開の方向性を考えました(平成25年長久手市公共交通に関するアンケート調査より)。

アンケート結果によると…

- 今後の行政の対応に関して、「車よりも公共交通の移動のしやすさを重視すべき」と回答した方が全体の約7割
- 公共交通を利用しない理由に関して、「車の方が便利」と回答した方が過半数以上
- 公共交通別に利用しない理由に関して、「日常生活で行く必要があるところに行けない」、「バスがどのように走っているか知らない」と回答した方がそれぞれ15%以上

| 課 題 | 今後の展開の方向性 |
|-----------------------|---|
| ① 市民の公共交通に対する意識と行動の相違 | みんなで公共交通を育む機運づくり 〈市民とともに公共交通のあり方を考える場など〉 |
| ② 市民の移動ニーズの把握や適切な情報提供 | みんなが利用しやすい公共交通サービスの実現 〈移動に関する実態調査、様々な媒体を利用した周知・広報など〉 |
| ③ 過度な自動車依存からの転換 | 公共交通の積極的な利用促進に向けた取組の推進 〈交通結節点の整備や公共交通利用者に対する特典など〉 |